

組織する事は不可能である。労働組合が財政的、行政的、事務的基礎と内容を整備する事自體が、労働者を組織する根本的要因である事を忘れてはならぬ。

労働争議が小工場に多い事は財界の現状に於いて止むを得ぬ事であるが、雇手が労働組合の存在を拒否せんとするところから惹起したるものも尙若干認めらるゝは遺憾である。不況時代に當面しては勞資ともに闘争一點張りで解決の不可能なる場合が、益々多きを加へるであらう。中小工場に於いて殊に然りである。故に雇手はよろしく労働組合を公認し、労働組合も亦之と協力して、現實に即したる合理的解決を求めねばならぬ。

罷業は、労働組合の最後の手段であつて、之を亂用する事は厳に慎まねばならぬところであるが、之が爲めには、労働争議の統制を行はねばならぬ。若々、各加盟組合に於いて、争議統制の成績を上げつゝあるを認めるが、尙、多少の遺憾なる點があるのは免れ難い。次年度に於いては、関東労働同盟會は、前年度大會の決議に依る労働争議統制問題を具體化する必要があると信ずる。

罷業相互金庫が、若々發達しつゝあるのは頗る愉快とするところである。我等は最少限度二十萬圓には達せしめねばならぬ。之が實現したならば我國に於ける過去の労働争議費用の點より見れば、驚くべき闘争力を發揮することが出来るのである。頑迷不靈なる雇主をして戦慄せしめることが出来るであらう。

團體協約権の確立は、我等の基本的政策である。各加盟組合の熱心なる努力に依つて、漸時増加しつゝあるのであるが、大局より見れば尙微々たるものである。我等は今後積極的に之を獲得の爲めに努力すると同時に、現に確立せる工場に於いては、健全なる發達をなせしめ、如何に、我國の産業並に労働組合運動の上に團體協約権確立が重要な役割を演ずるものなるかを、事實に依つて示さねばならぬ。

團體協約運用に當つて、いかなる手順をとり、いかなる具體方法を採用する事が最も妥當なりやと云ふ事は、我等の今後益々考究しなければならぬ問題である。殊に小工場に於ける團體協約は、運用技術に於いて一層研究的努力を拂ふ必要を認めるのである。

事業部は、資金難と、人物難に依つて、豫期の成績を挙げ得ないのは遺憾であるが、而し漸時發展の路を通りつゝあることは明かに認むることが出来る。消費組合、生産組合、信用組合、共済組合等も、労働組合と密接不離の關係に於いて發達成長せしめねばならぬが、而し之等は事業の經營であるから、自ら労働組合運動とは多少趣も異にせざるを得ない。従つてかゝる事業に適應する指導者、役員事務員等の養成に向つて、各關係労働組合は努力しなければならぬ。同時に、消費、生産、信用、共済等の諸組合の有する社會的意義に就いて、一般組合員に徹底せしむる爲めの教育運動は極めて必要である。

労働會館の建設運動は、各地に於いて實現され、既に數ヶ所の會館を擁つに至つたが、今後も、日本労働會館完成を始め、我等の會館を續々建設し、労働組合運動の基礎工事の一つとなすべしならぬ。

本年度に於ける會計狀態を見るに、尙改善の餘地ありと雖も大體に於いて良好、健全に向ひつゝある。會計制度は、労働組合にとつて最も重要なものであつて、これが健全、不健全は、直ちに労働組合の内容を知る標準となるものである。我等はいかなる不正も行ひ得ざる厳正なる會計制度を樹立し、會費の納入と管理を厳にして財政的基礎を益々充實しなければならぬ。

我等の屬する日本労働總同盟は社會民衆黨を支持する中堅團體である。黨創立以來、常にその先頭に立つて、労働者の政治的權利伸長の爲めに戦つて來たのであるが、眞に社會民衆黨をして有力なる無産政黨たらしむるためには、労働組合の強力な發達が必須條件である。故に、我等は先ず労働組合の内容を充實し、組織を擴大する事を忘れてはならぬ。労働組合は土壌であり、政治闘争の基本である。